



平成八年三月、町の東玄関に待望の工業団地の造成が完成しました。

工業団地は国道四〇一号线をはさんで、二十二・三ヘクタルの面積をもち、うち分譲面積は十六・七ヘクタール。敷地内には五カ所に公園を設置し、あずま屋、池など緑多い自然の景観を見せています。東側の公園内には、「まほろばの誌」と題した、町の『土』『水』『風』を表す石柱一基と二体のブロンズ彫刻のモニュメントが建っています。



企業誘致の現状は三十区画のうち、二十一区画に町内の企業のほか会津若松市や新潟県内の企業が進出し、一部操業を開始しています。町では既存の工業及び地場産業を育成しつつ、工業団地への企業誘致を促進し、課題となっている若年雇用者層の定住化を図っています。



歴史の里 いま新たに

会津高田町工業団地

